

眼科

1. スタッフ（平成27年4月1日現在）

科 長（教 授） 川島 秀俊
 副 課 長（准 教 授） 小幡 博人
 外来医長（学内准教授） 牧野 伸二
 医 員（講 師） 高橋 秀徳
 医 員（学内講師） 吉田 淳
 病院助教 佐藤 彩
 （堀 こずえ）
 大河原百合子
 富永 聡子
 シニアレジデント 8名

高橋 秀徳
 佐藤 彩
 （堀 こずえ）
 大河原百合子
 富永 聡子

・指導医

日本眼科学会専門医指導医

川島 秀俊
 （佐藤 幸裕）
 小幡 博人
 牧野 伸二
 吉田 淳
 高橋 秀徳

2. 診療科の特徴

当院では、大学病院という3次医療機関である関係上、地域の医療施設と密接に連携体制をとり、急性期の治療を中心に診療を行っている。特に、専門外来（角膜、緑内障、ぶどう膜炎、網膜・硝子体、黄斑、眼循環、ロービジョン、弱視・斜視）を充実すべくスタッフ一同、常に最新の高度医療の導入に努力している。

診断面では、通常的眼科診療に必要な機器を完備しており、さらに光干渉断層計（OCT）、ICG眼底撮影（HRA II）、広角眼底撮影装置、前眼部三次元画像解析装置、等々最新の診断機器を備えている。

治療面では、中央手術室に眼科専用手術室を2室設け、それぞれに最新の超音波水晶体乳化吸引術装置（インフィニティ）、硝子体手術装置（コンステレーション）を設置し対応している。また、加齢黄斑変性に対しては抗VEGF療法を積極的に行っている。

当院では、電子カルテシステムが導入されている。眼科においては、さらに眼科サブシステムを用いて、画像データや手術スケジュールの管理、各種病態の説明に使用しており、効率がよく、医療安全の面からも有益なシステムを構築している。

・施設認定

日本眼科学会専門医制度認定施設
 日本眼科学会専門医制度研修プログラム施行施設

・専門医

日本眼科学会専門医認定医

川島 秀俊
 （佐藤 幸裕）
 小幡 博人
 牧野 伸二
 吉田 淳

3. 診療実績・クリニカルインディケータ

1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数	2,240人
再来患者数	35,406人
紹介率	98.9%

2) 入院患者数（病名別）

病 名	人数
白内障	780
網膜剥離	177
糖尿病網膜症	170
加齢黄斑変性	15
黄斑円孔	40
緑内障	22
斜視	34
網膜前膜	63
硝子体出血	36
角膜潰瘍	6
視神経炎	2
原田病	6
前房出血	5
眼球破裂	2
その他	83
合 計	1,441

3-1) 手術症例病名別件数

術式	人数
白内障手術（白内障手術のみ）	812
経強膜網膜剥離手術	65
硝子体手術（白内障同時手術含む）	441
緑内障手術（白内障同時手術含む）	16
斜視手術（小児・全麻）	41
角膜移植手術	10
その他	20
小計	1,403
外来手術（レーザー含む）	
涙道手術	3
眼瞼手術	85
結膜（翼状片）	50
結膜（その他）	30
斜視手術	59
角膜手術	16
レーザー光凝固	1,449
その他	30
小計	1,722
合計	3,125

3-2) 手術術式別件数・術後合併症数

該当なし

4) 化学療法症例・数

該当なし

5) 放射線療法症例・数

該当なし

6) その他の療法（免疫療法）症例・数

ベーチェット病 ・ 8例

原田病 ・ 6例

7) 悪性腫瘍の疾患別・臨床進行期別治療成績

脂腺癌 5年生存率 100%

8) 死亡症例・死因・剖検数・剖検率

該当なし

9) 主な処置・検査

蛍光眼底造影、超音波画像診断装置、
前眼部及び眼底光干渉断層計（OCT）
超広角走査レーザー検眼鏡（OPTOS）
スペキュラーマイクロスコープなど

10) カンファランス症例

クリニカルカンファランス

毎週月曜日午後6時30分より

4. 事業計画・来年の目標等

大学病院の眼科の使命として、教育・研究・臨床の3つを行うことが要求されている。

教育は、学生教育のみならず、専門医を育てる必要がある。最新の医療技術を安全確実に提供できる眼科専門医を養成する。

医学や医療の発展のために、単に日常診療のみに流されることのないよう、常に新知見を得る努力を怠らないように心がける。

導入されている最新の医療機器を有効利用し、重症患者に対する質の高い医療を提供する。